



市民の声を市政に反映

杉森ひろゆき

市議会議員 ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行

740・741号 2019年1月1日

〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8

TEL・Fax : 870-0335

携帯 : 090-5587-7693

Mail : sugimori@max.hi-ho.ne.jp

市長公約の進捗状況

ブラック市政の改革

第4回定例会一般質問 ①-B

杉森議員は12月11日、牛久市議会第4回定例会で、①市長公約の進捗状況、②牛久シャトーの事業撤退対策、③駅前のムクドリ、④東海第2原発の再稼働の危険性について、一般質問しました。今号では①のBを掲載します。

怒鳴り声が鳴り響く庁舎

【杉森議員の質問】以前は市の庁舎内で池辺前市長の怒鳴り声が鳴り響くという、考えられないようなパワハラが市役所を支配し、さらには不当労働行為、残業代不払い、振替休日未消化など、違法行為が満ちていました。電通やワタミなど、労働者を長時間過

今年こそ野党共闘前進へ

2018年12月に総選挙後初の都道府県議会議員選挙がこの茨城で実施されましたが、野党共闘が実現せず、茨城県政の自民党一党独裁は打破できませんでした。

2019年4月は、牛久市議会も含め統一地方議会議員選挙が実施されます。7月には、参議院選挙が控えています。衆院選とのダブル選挙の可能性も含め、野党共闘が全国的に組織できれば、与野党逆転の可能性が高まります。

9月には、牛久市長選が実施されます。旧市政の復活を許してはなりません。

今後も引き続きご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

1/26 上岡直見 講演会

東海第2原発に 緊急事態が起きたら 茨城県民は？

交通工学と環境問題の研究者である上岡さんが、原子力災害の避難計画の実効性を検証します。

講師：上岡直見氏

日時：1月26日(土)午後2時開演

会場：県南生涯学習センター中講座室

(土浦駅前ウララビル5階)

主催：脱原発ネットワーク茨城

資料代：500円

チケット：杉森議員も取り扱っています



重労働・不払い労働などの違法行為によって使いつぶし、離職あるいは自殺に追い込むなどの企業を、ブラック企業と呼んでいます。池辺前市長時代の牛久市役所はまさにブラック市役所でした。根本市長は所信表明で、「最も重要なことは、行政におけるコンプライアンス＝法令遵守であります」と述べました。

不当労働行為の解消

そこで、法令遵守に関してまず、法令違反の象徴でもあった、不当労働行為の解消について質問します。2007年に池辺前市長が一方的に廃止した職員の夏季特別休暇の復活を求める団体交渉に関して、県労働委員会は2009年に命令書で「到底誠実に団体交渉に臨んでいたとは認めがたく、実質的には団体交渉を

理由なく拒んだものと同視せざるを得ず、労働組合法第7条第2号の不当労働行為に該当する」と断じました。不当労働行為とは違法行為であり、その解消はブラック市政改革の第一歩とも言えます。不当労働行為の解消はどのように進んだのでしょうか。

【市長の答弁】 夏季休暇については、2007年度に廃止し、2015年度までは付与していませんでしたが、2016年度からは3日間付与し、今年度より1日増やし、4日の付与としています。また、来年度はさらに1日増やし、5日の付与を考えています。

このような勤務条件の変更に当たっては、私もできる限り出席し、職員組合との団体交渉を誠実にやり、その他にも職員組合費のチェックオフの再開や育児休業からの復職時調整の改善、組合掲示板の復活などを行っています。

パワハラの防止

【杉森議員の質問】 パワハラに関しては、牛久市議会は2014年に全国的にも先駆けとなるパワハラ防止条例を制定し、市長をも含めたパワハラ対策を強化するために努力してきました。根本市長のパワハラ防止に向けた対策について、進捗状況を質問します。

【総務部長の答弁】 実際のハラスメントの事例では、加害者がまったく加害意識を持っていない場合や、低い意識しかもっていなかったために起きたケースが非常に多くあるといわれており、対策としては、ハラスメントについての認識を共有することが重要で、啓発活動が欠かせないものであると考えます。

市では、計画的に管理職を対象としたハラスメントの研修を行うとともに、メンタルヘルス研修の開催や同内容の研修に職員を派遣しており、今後も継続して実施していきます。

また、今以上に相談者が相談しやすい体制を作り、より快適な人間関係、職場環境となるよう努めていきます。

残業代不払い・振替未消化

【杉森議員の質問】 残業代不払いと振替休日不消化に関しては、どちらも労働時間管理

茨城県議会議員選挙

玉造順一氏当選

新社会党茨城県本部推薦



12月9日、茨城県議会議員選挙が行われ、茨城県本部が推薦した、新人で立憲民主党公認の玉造順一候補が、水戸市・城里町選挙区（定数6）で、見事14,372票を獲得し、第3位で当選を果たし

ました。

玉造氏は支持者を前に「東海第2原発の再稼働反対や医療福祉の充実が市民の皆さんに受け入れられた結果。こうした政策の実現に向け頑張りたい」と述べました。

の強化、職員数の確保などが関連しますので、一緒にそれらの解消の進捗状況を聞きます。

【総務部長の答弁】 時間外勤務については、各職場の状況により管理職の勤務命令で行われるものとなっており、勤務命令により行った時間外勤務に対しては時間外手当を支給していきます。

振替休暇の取得の職員全体の取得日数としては、2014年度が2,161日、15年度が2,313日、16年度が2,240日、17年度が2,394日と、増加しています。

しかしながら、全ての職員が完全に取得できているわけではありませんので、今後は、振替休暇が計画的に取得できるような環境を整えていきたいと考えます。

また、これまで杉森議員からご質問にあった時間外勤務の縮減や休暇の取得状況を改善し、職員のワークライフバランスを実現することにより業務効率を上げ、市民サービスの向上につなげるため、常勤職員を増員してきましたが、今後も計画的に職員を増員を図っていききたいと考えています。